氏名	中村　俊直 NAKAMURA Toshinao
所属	人間文化創成科学研究科文化科学系
職名	教授
学位	文学修士(1979　東京大学)、D.E.A. (1982 ポール・ヴァレリー大学)
専門分野	近・現代のフランスの文学と思想及び言語論
URL	
E-mail	nakamura.toshinao@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

視覚イメージ
言語記号
文化記号論
演劇的言語
ベル･エポック

主要業績

研究内容 / Research Pursuits

１　１９世紀末から２０世紀前半にかけて活躍したフランスの詩人･批評家のポール・ヴァレリーに関する多角的･総合的な研究。さらに彼に関係する文学者や芸術家、思想家に関する研究、並びに彼の生きた時代と社会に関する研究。 ２　言語記号と視覚記号の両者の機能の比較研究。 ４　日本の近代の文学者や芸術家の営為にフランスの文学や文化が与えた影響の解明。又逆に日本の芸術がフランスの文学や美術に与えた影響の解明。 ５　演劇おける言葉の機能の考察

教育内容 / Educational Pursuits

学部 1　フランス語の初級文法の教授。 2　文学と美術との相互影響関係の考察。 3　演劇における言葉の問題の考察。 4　卒業論文の指導。 大学院 1　ヴァレリーの美術批評の研究。 2　修士論文、博士論文の指導。

研究計画

ヴァレリーの美術批評の精密な読解と翻訳を共同で行う。その成果を近いうちに出版する予定である。

メッセージ

大学は自由にものを考え、探求する場所です。大学での学問の範囲は明確に限定されているわけではなく、またあらかじめ問題に対する答えが定められているわけではありません。従って、はっきりした一つの答えが見つからなくてもよいのです。思考や探求の結果ももちろん大切ですが、それと同じくらいに、あるいはそれ以上に重要なのは、結論に達するまでの過程です。その過程においてたくさんのことを考え、調べ、さらにはいろいろ迷うことが、後々大きな意味を持ってきます。そのようにして、柔軟な思考力や幅の広い判断力を養成することが、卒業後の長い人生において大きな力となることでしょう。